

1. 豊田PCB廃棄物処理施設 蒸留設備について

■蒸留設備とは

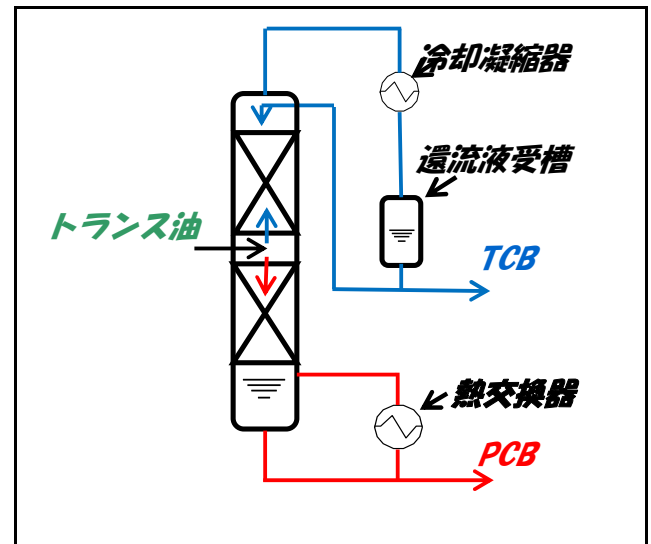
液体が沸騰して気体になるときの温度(沸点)の違いを利用して混合物を分離し、別々に回収するための設備です。

蒸留塔に入れられた混合物は加熱することで沸騰します。

沸点の低い物質(低沸点物)は気体になり蒸留塔の上部に上がって行きます。低沸点物の気体はその後冷却されて液体として回収されます。

沸点の高い物質(高沸点物)は蒸留塔の下側で液体として回収され次の工程へ送られます。

また、低沸点物(液体)の一部を塔頂に戻し、その気化熱で塔頂部の温度を下げることで蒸留塔全体の温度を安定させ、分離性能を保っています。



トランス油分離蒸留設備(イメージ図)

■蒸留設備で行っていること

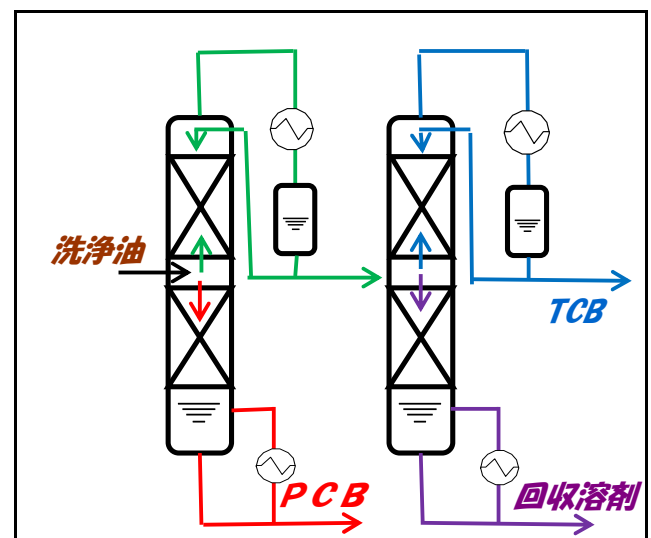
当施設には蒸留塔は4組8本あります。その中から2組についてご説明します。

(1)トランス油分離蒸留設備

トランスに含まれる絶縁油はPCBが60%とTCB(トリクロロベンゼン)40%の混合物です。TCBが低沸点物、PCBは高沸点物です。TCBは蒸留塔の上部から回収されて、産業廃棄物として施設外に搬出されます。PCBは蒸留塔の底部から回収されて、次の工程(液処理)へ送られて無害化されます。

(2)洗浄油分離蒸留設備

トランスの洗浄に使用したTCBを含んだ洗浄油(鉍物油)はPCBよりも沸点が低いため、先に気体となります。PCBはそのまま液処理へ送られます。また回収した洗浄溶剤はTCBを分離した後に再利用します。



洗浄油分離蒸留設備(イメージ図)

2. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検のご案内

豊田PCB廃棄物処理施設では、5月1日～5月22日までの22日間、春期定期点検を行います。定期点検の詳細については次号でお伝えします。

3. 平成25年度 安全セミナーについて

■安全セミナーの目的

豊田施設では、JESCO及び運転会社の全員の資質向上を図り、施設の運転を安全にかつ確実にを行うため、平成19年度から安全セミナーを開催し、設計思想の教育を初めとするPCB処理事業の推進のための各種安全教育を継続的に実施しています。



安全セミナー受講の様子

■平成25年度安全セミナー実施計画

平成25年度も前年度に引き続き、過去のトラブル事例、緊急時の対応、JESCOに係わる法令や、豊田再生計画及び改善報告書等の内容をテーマにして12回の年度計画で安全セミナーを開催する予定です。

4年度の第1回は、新年度の最初のセミナーということで「PCBについて」と題して、PCBの性状や有害性等について再認識するとともに、万一暴露した場合の応急措置についての教育を行いました。

4. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況についてのご報告

平成25年4月の処理実績は右表のとおりです。
順調に処理を実施しました。

25年4月の処理台数

種 別		処理台数
コンデンサ類		487 台
トランス類	大 型	4 台
	小 型	0 台
	車 載 型	4 台
廃PCB等		4 本
保管容器		2 個

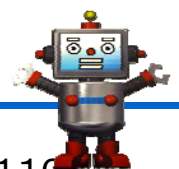


アザラシのピーちゃん

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸